

# 慢性疼痛患者の心理社会的評価と 心理療法講演会

2022年 **12月8日(木)** 18:00-19:45

対象:医師, 歯科医師, 歯科衛生士, 看護師, 理学療法士, 作業療法士, 公認心理師, ソーシャルワーカー, 薬剤師

**無料**

参加用サイトURL

慢性疼痛に関する最新知見を  
ぜひこの機会に一緒に学びましょう

<https://zoom.us/j/6801584523>

司会:渡部 達範先生(魚沼基幹病院 麻酔科 部長)

開会の挨拶 (18:00-18:05)

木村 慎二 先生 (新潟大学医歯学総合病院 リハビリテーション科 病院教授)

## 1. 症例提示 1 (18:05-18:25)

「心理的問題を抱えた右下肢CRPSの一例」

演者:北村 拓也先生 (新潟リハビリテーション大学医療学部

リハビリテーション学科 講師)

コメンテーター:安野 広三先生 (九州大学病院 心療内科 助教)

:富田 美佐緒先生(新潟県立がんセンター新潟病院

## 2. 症例提示 2 (18:25-18:45)

麻酔科 臨床部長)

「家庭内での問題を抱えた慢性腰痛の一例」

演者:渡部 達範先生 (魚沼基幹病院 麻酔科 部長)

コメンテーター:安野 広三先生 (九州大学病院 心療内科 助教)

:筒井 奈佳子先生 (新潟リハビリテーション病院

臨床心理室 臨床心理士)

## 3. 基調講演 (18:45-19:45)

「慢性疼痛患者の心理社会的評価と心理療法」

座長:傳田 定平先生 (新潟市民病院 ペインクリニック外科 部長)

講師:安野 広三先生 (九州大学病院 心療内科 助教)

慢性疼痛患者の心理社会的要因の評価は、①痛みからくる抑うつ・不安などの心理的状态、生活機能障害、社会的状況の変化、②痛みに対する認知・行動特性、③背景にある元来の患者の性格特性、置かれている社会的状況、に大きく分けられる。一般的に慢性疼痛の心理療法は主に②に焦点をあてられるが、難治の経過をたどる症例は③の評価・対応が重要になることが多い。今回、慢性疼痛の心理社会的評価・治療につき①②③を含め包括的に概説したい。

閉会の挨拶

渡部 達範先生(魚沼基幹病院 麻酔科 部長)

お問い合わせ

新潟大学医歯学総合病院リハビリテーション科

〒951-8520

E-mail: [riha-ken@med.niigata-u.ac.jp](mailto:riha-ken@med.niigata-u.ac.jp)

新潟市中央区旭町通1丁目754番地

事務担当: 佐藤、山本

TEL/ FAX 025-227-0369